

平成16年度試験研究成果書

区分	普及	題名	小ぎく「アイマム」シリーズに対するエテホン処理による開花調節効果		
〔要約〕 エテホン200ppm溶液を摘心時及びその10日後に2回処理することにより、無処理と比較して「アイマムパープルレッド」では8～20日、「アイマムアーリーホワイト」では6～13日、「アイマムアーリーイエロー」では9～12日採花盛期が遅れる。					
キーワード	小ぎく	「アイマム」	エテホン処理	園芸畑作部 花き研究室	

1 背景とねらい

岩手県の小ぎくは北上市及び東磐井郡を中心に県下全域で栽培されており、主要な花き品目の1つになっている。県では、本県の立地条件に適合したオリジナル品種「アイマム」シリーズを育成し、普及を図っている。

生産者は夏秋期の需要期を中心とした継続出荷を行うために、保有品種数を増やしているが、品種の特性に合わせた栽培管理や親株管理に費やす労力が大きくなることから、産地化を図る上で障害となっている。

そこで、「アイマム」シリーズの中でも早期に開花する「アイマムパープルレッド」「アイマムアーリーホワイト」「アイマムアーリーイエロー」に対して、エテホン液剤（商品名：エスレル10液剤）を処理して開花調節を行った。

2 成果の内容

- （1）「アイマム」シリーズ3品種に対して、エテホン200ppm溶液（エスレル10液剤500倍希釈液）を摘心時及びその10日後に2回処理することにより、採花盛期の年次変動がみられるものの、無処理と比較して、「アイマムパープルレッド」では8～20日（平均14.7日）、「アイマムアーリーホワイト」では6～13日（平均10.7日）、「アイマムアーリーイエロー」では9～12日（平均10.3日）遅れる（表1～4）。
- （2）エテホン処理により、切り花長、切り花重、調整重の値が大きくなる（表1～4）。
- （3）開花抑制の効果は100ppm溶液でも認められるが、開花抑制期間をより長くする場合には200ppm溶液を使用する（表3、表4）。

3 成果活用上の留意事項

- （1）エテホン液剤による開花調節効果の程度は、栽培地域、気象条件等によって異なり、年次変動が生じるので使用時には注意する。
- （2）エテホン液剤は成長調整剤であり、使用基準並びに使用方法を遵守する。

4 成果の活用方法等

- （1）適用地帯又は対象者等
「アイマム」シリーズ栽培者
- （2）期待する活用効果
「アイマム」シリーズの普及拡大、エテホン処理による保有品種の整理
普及見込み面積 2ha

5 当該事項に係る試験研究課題

(865) 「小ぎくの作期拡大技術の確立」 (H14～18、県単)

6 参考資料・文献

7 試験成績の概要（具体的なデータ）

表1 「アイマムアーリーイエロー」へのエテホン処理効果（平成13年）

試験区	採花盛期*1 (月/日)	切り花長 (cm)	節数 (節)	側枝数 (本)	花数 (個)
無処理	8/03(0)	90.6	30.0	10.2	21.0
200ppm	8/14(11)	100.1	37.3	9.0	30.6

*1：採花盛期の括弧内は無処理時の盛期を基準とした時の抑制日数
 栽培概要：挿し芽(4/12)、定植(5/1)、摘心(5/4)
 挿し芽法：培土はメトロミック360。200穴セル成型育苗。
 栽植様式：株間8cm、条間45cm、2条植え、3本仕立て。
 施肥量：N、P、K 各10kg/10a。堆肥2t/10a。
 エテホン処理法：溶液を摘心時及びその10日後に葉が軽く濡れる程度に2回処理

表2 「アイマム」シリーズへのエテホン処理効果（平成14年）

品種名	試験区	採花盛期*1 (月/日)	切り花長 (cm)	節数 (節)	切り花重 (g)	側枝数 (本)	花蕾数*2 (個)	茎径 (mm)
パープル	無処理	7/23(0)	89.9	35.4	33.7	11.1	12.5(7.5)	4.1
レッド	200ppm	8/12(20)	107.8	45.4	42.3	9.9	14.1(14.0)	4.0
アーリー	無処理	7/28(0)	80.5	31.9	33.6	9.9	11.0(7.9)	4.6
ホワイト	200ppm	8/10(13)	84.7	43.3	42.1	9.8	11.2(12.8)	4.8
アーリー	無処理	8/05(0)	88.2	32.7	55.0	14.2	27.8(7.8)	4.8
イエロー	200ppm	8/14(9)	98.5	39.0	66.0	11.0	22.0(5.8)	5.0

*2：花蕾数は有効花蕾数、括弧内は無効花蕾数
 栽培概要：親株保温(1/30～)、挿し芽(4/5)、定植(4/23)、摘心(4/26)
 挿し芽法、栽植様式、施肥量、エテホン処理法は平成13年に同じ

表3 「アイマム」シリーズへのエテホン処理効果（平成15年）

	試験区	採花盛期*1 (月/日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	調整重 (g)	側枝数 (本)	花蕾数*2 (個)	節数 (節)	茎径 (mm)
パープル	無処理	7/20(0)	97.0	35.9	29.5	11.5	14.2(1.3)	34.5	4.0
レッド	100ppm	7/31(11)	105.7	42.7	33.1	12.6	15.3(5.3)	44.3	4.1
(IPR)	200ppm	8/05(16)	100.4	41.8	33.9	12.4	15.9(4.3)	47.3	4.4
アーリー	無処理	7/27(0)	85.5	44.7	42.1	9.6	16.5(2.3)	31.1	4.6
ホワイト	100ppm	8/05(9)	88.2	51.5	47.1	9.9	17.1(5.5)	39.6	5.3
(IEW)	200ppm	8/09(13)	87.5	69.7	64.7	9.9	27.4(2.3)	39.5	5.6
アーリー	無処理	7/29(0)	83.4	42.0	39.0	12.7	18.4(5.8)	30.7	4.7
イエロー	100ppm	8/05(7)	86.0	41.6	39.1	12.5	17.7(4.1)	39.2	4.7
(IEY)	200ppm	8/10(12)	89.4	51.1	46.1	10.2	23.1(1.7)	40.6	4.8

栽培概要：親株保温(1/31～)、挿し芽(4/7)、定植(4/24)、摘心(4/28)、整枝(6/12)
 挿し芽法、栽植様式、施肥量、エテホン処理法は平成13年に同じ

表4 「アイマム」シリーズへのエテホン処理効果（平成16年）

	試験区	採花盛期*1 (月/日)	切花長 (cm)	切花重 (g)	調整重 (g)	側枝数 (本)	花蕾数*2 (個)	節数 (節)	茎径 (mm)
パープル	無処理	7/24(0)	88.5	39.8	32.8	13.3	19.0(7.1)	31.3	4.5
レッド	100ppm	7/30(6)	99.8	50.2	39.8	12.5	19.3(4.0)	38.7	4.5
(IPR)	200ppm	8/01(8)	96.7	52.6	43.2	13.7	19.1(6.9)	39.1	4.6
アーリー	無処理	8/04(0)	82.8	66.0	60.3	9.7	20.0(8.4)	32.5	5.3
ホワイト	100ppm	8/09(5)	92.5	69.6	60.5	10.1	25.6(9.2)	37.7	5.4
(IEW)	200ppm	8/10(6)	89.4	77.9	70.3	10.7	29.3(13.6)	37.5	5.9
アーリー	無処理	8/03(0)	97.4	60.8	51.0	10.8	19.8(5.4)	30.0	5.0
イエロー	100ppm	8/10(7)	108.4	67.8	58.1	9.7	28.1(4.7)	36.7	5.0
(IEY)	200ppm	8/12(9)	109.4	66.4	53.0	9.3	28.1(5.8)	39.1	5.2

栽培概要：親株保温(1/20～)、挿し芽(4/9)、定植(4/30)、摘心(5/3)、整枝(6/9)
 挿し芽法、栽植様式、施肥量、エテホン処理法は平成13年に同じ